

2. テレビジョン時代とスポーツ

川口 智久

1. はじめに

わが国は1960年代に入り、テレビジョンセットの普及と放映内容の豊富多様化を迎え、今日に至っている。テレビ放送の初期段階においてスポーツがテレビに対して果たした役割、またテレビがスポーツに与えた影響は特別なものであり、両者の関係はきわめて密接なものであったといえる。つまり、初期はスタジオの不十分さを補うために劇場や寄席中継そしてスポーツの中継を中心にテレビ放映の魅力を問う状況にあった。人気番組はプロレスでありプロレスであった。その状況を知る一つの事柄として1954年10月に行われた白井対アレンのボクシング・フライ級世界選手権がある。その夜、街頭テレビの前に大群衆が集まり大変な騒ぎになったのである。また同年、力道山ブームが生まれている。「プロレスと力道山なしに初期のテレビに対する大衆の注目はなく、またテレビなくしてプロレス人気も考えられなかったというのが実状であった」と言われるようにスポーツなかんずくプロレスとテレビは相互に関連しながら発達していったのである。

『余暇の戦後史』（石川義弘編著、1979年）によれば1960年プロレスは視聴率50%を取り、4年間視聴率の王座に君臨した。また69年にはスポーツドラマ「サインはV」「柔道一直線」「巨人の星」「アタックN0.1」が人気を得るなど、スポーツに対する子供や若者の「根性主義的スポーツ観」が一種の常態になる状況を作り出し、特殊な雰囲気醸成されるようになった。そしてこれらのことが、以後のスポーツのあり方を決めるような状況を作り出していったことも記憶しておくべきであろう。

このような背景を持ち、今日のテレビジョン時代を迎えている今、スポーツがテレビジョンの影

響によってどのように変化し、また変化を強いられているのか、また逆にテレビジョン放送がスポーツの大衆的支持によってどのような対応を迫られているのか。それらの関係を明らかにし、今日のスポーツの姿を描き出すことが課題である。しかし時間の制約もあり、本報告ではスポーツ放映の変化の状況についてのみ報告する。

2. スポーツ放映の質と量の変化

ここでは1960、1970、1980および1990年の全スポーツ放映番組を対象とし分析した。そこで各年次におけるスポーツ放映の質・量を比較し、年次の特徴を概観しておく必要がある。

(1) 各年次によるスポーツ放映の特徴

1960年

年間を通じて放映種目は48種目であり、他の年次に比して少ない。ただ総放映時間は175,494分（2,924時間54分）であった。また相撲、プロ野球、アマ野球の3種目で全放映時間の74%を占めていた。放映回数から見ると全放映回数1,855件、上記3種目がそれぞれ408(22.0%)410(22.1%)201(10.8%)となり三種目の構成比は合計54.9%となる。またオリンピック関連放送は300回16.2%（放映時間は4.6%）、プロレスは214回11.5%（6.7%）であり、短時間番組を頻繁に放送していたことを示している。しかし、年間を通して見たとき1放映当たり時間は94.6分であり相当に大型、ワイド番組が作られていたことを示している。

1970年

この年は70種目にわたる放映が行われ、総時間は134,101分（2,235時間01分）であった。60年に

比べ時間は約 25%減となっているが、放映件数は増加した。それゆえ一つの番組に対する放映時間は62.5分と大きく減少し多種目放映、短時間番組の傾向を示した。すでに述べてきたがこれはスポーツ中継に頼る放映体質から脱却しつつあるテレビ局の姿勢・体制の変化と見ることもできよう。

その現れとして60年に比しプロ野球の放映時間は約半分に短縮した。しかし全放映種目の中で第一位になり、相撲の放映時間は約 1/3となって第一位の位置をプロ野球に譲った。また大きな変化はプロレスとゴルフが急浮上してきたことである。かつて50年代に黄金番組であったプロレスは60年に僅か 1,600分であったものが、13,048分となり8.2倍に急増し第3位となった。このプロレス復活をどのように見るか、放映番組からの解析だけでは困難であり、日本のスポーツ界のあり方、日本社会の状況そしてテレビジョンにおけるスポーツの位置づけなど総合的分析が必要なものとなろう。また 1,675分であったゴルフも8,701分、5.2倍に増加し人気種目の傾向を顕著に示した。それに引き替えプロレスは11,680分から 5,318分と半減し人気に陰りが出ていることが明らかになった

(以後80年には60年放映時間の30%、90年には20%と漸減傾向を示している)。白井義男の登場によって注目を浴びたプロレスもその人気だけを利用しようとし、それぞれのジムをテレビ局の系列下に置き安易にイベントを作り上げ、内容の薄い試合を頻繁に送り出したことがファンに支持されず次第に低落していく原因を作り出したと分析することもできよう。

1980年

70年は60年に比し総放映時間が減少したが80年にはほぼ60年レベルに回復を見た。しかし60年の段階にまでは回復していない。その理由は明らかでないが、テレビジョン・スポーツ放映「御三家」といえるプロ野球、相撲、アマチュア野球はその放映時間を増大させているのである。

この年の特徴は放映種目数において減少しながら総放映時間の増大が見られること、また放映件

数が減少したことである。これは放映件数と一放映当たりの時間の関係に顕著に現れている。例えば、NHK総合は304回の放映で総計 39,021分、一つの番組に対し約 2時間を費やしている。それに対し「テレビ東京」は 538回の番組を提供しているが一番番組平均56分とNHKの半分であった。

もう一つの特徴はゴルフが急上昇してきたことである。60年には全放映時間の僅か1%に過ぎなかったが70年に6.5%、そしてついに 10%を超えるまでになったのである。この要因は「テレビ東京」の取り組みと大きく関係している。即ち、「テレビ東京」が全放映時間の 38.3%を占めるほどに拡大政策を採ってきたことにある。ちなみに70年に比し「日本テレビ」や「テレビ朝日」はほぼ同じ時間数であったが「テレビ東京」は 1,545分から 6,481分へと4.2倍増とした。

また、プロレスの放映時間が減少したこととバレーボールが急浮上し順位を上げたことが特徴である。

1990年

この年の大きな特徴は全体的に見ると放映時間、種目、件数において過去最高を示したことである。特にゴルフの放映時間が一気に増大し「御三家」を越え、20%となり第一位になった。この要因は、「テレビ東京」がゴルフ放映に特異な関与を示し自局放映時間43,679分の約半分近い19,913分 45.6%を割り当てていることである。またこれは90年の全放映時間の約 1割(9.4%)に相当する程に膨大な量を占めていることを指摘しておかなければならない。放映件数も10年前の 345回(16.5%)から817(29.7%)へと変化した。そして御三家といわれるプロ野球、相撲、アマチュア野球がそれとの関係で軒並み構成比を低下させたことである。しかしながら、今日の段階でテレビスポーツの中心を構成しているスポーツ種目がほぼ20位以内に位置づけられる状況になっている。特に駅伝、マラソン、ラグビーサッカーなどの台頭に注目しておかなければならないであろう。

表1: 年次視聴率調査(分)

1960年種目順位					1970年種目順位					1980年種目順位					1990年種目順位				
種目	順位	視聴率(分)	構成比	放映数	種目	順位	視聴率(分)	構成比	放映数	種目	順位	視聴率(分)	構成比	放映数	種目	順位	視聴率(分)	構成比	放映数
相撲	1	48,692	27.7%	408	プロ野球	1	22,633	16.9%	209	プロ野球	1	31,207	19.1%	282	ゴルフ	1	42,106	20.0%	817
プロ野球	2	44,482	25.3%	410	相撲	2	13,324	9.9%	187	アマ野球	2	19,721	12.1%	150	相撲	2	35,028	16.6%	313
アマ野球	3	37,151	21.2%	201	プロレス	3	13,048	9.7%	245	相撲	3	18,602	11.4%	199	相撲	3	18,699	8.9%	203
プロレス	4	11,680	6.7%	214	アマ野球	4	11,516	8.6%	76	ゴルフ	4	16,925	10.3%	345	アマ野球	4	16,250	7.7%	121
オリンピック	5	8,087	4.6%	300	ゴルフ	5	8,701	6.5%	326	プロレス	5	9,911	6.1%	165	ハレーマール	5	9,825	4.7%	126
競馬	6	3,540	2.0%	37	競馬	6	8,611	6.4%	102	ハレーマール	6	6,892	4.2%	85	テニス	6	8,913	4.2%	133
水泳	7	2,864	1.6%	30	キックボクシング	7	6,955	5.2%	168	オリンピック	7	6,830	4.2%	92	競馬	7	7,935	3.8%	104
ラグビー	8	2,154	1.2%	21	サッカー	8	6,938	5.2%	100	競馬	8	6,067	3.7%	73	サッカー	8	6,364	3.0%	67
ゴルフ	9	1,675	1.0%	59	ホクリンク	9	6,145	4.6%	132	テニス	9	5,403	3.3%	101	アメリカンフット	9	5,927	2.8%	56
プロレス	10	1,600	0.9%	27	ハレーマール	10	5,506	4.1%	62	サッカー	10	4,770	2.9%	78	プロレス	10	5,703	2.7%	96
ハレーマール	11	1,210	0.7%	9	プロレス	11	5,318	4.0%	118	プロレス	11	3,668	2.2%	55	自動車レース	11	5,205	2.5%	73
ハスケット	12	1,142	0.7%	9	ラグビー	12	2,191	1.6%	26	ラグビー	12	3,274	2.0%	34	ラグビー	12	4,316	2.0%	47
ラグビー	13	995	0.6%	12	ハスケット	13	2,120	1.6%	24	陸上競技	13	2,572	1.6%	32	アジア大会	13	3,847	1.8%	45
スキー	14	925	0.5%	15	水泳	14	1,900	1.4%	32	自動車レース	14	2,300	1.4%	30	駅伝	14	3,410	1.6%	19
サッカー	15	912	0.5%	7	ローラーゲーム	15	1,707	1.3%	35	ハスケット	15	2,248	1.4%	32	マラソン	15	3,230	1.5%	24
テニス	17	833	0.5%	6	陸上競技	18	1,377	1.0%	23	アメリカンフット	17	2,184	1.3%	21	ホクリンク	16	3,175	1.5%	56
アメリカンフット	30	170	0.1%	2	自動車レース	20	1,169	0.9%	18	自動車レース	20	1,215	0.7%	19	プロレス	17	2,852	1.4%	42
マラソン	36	95	0.1%	2	テニス	21	965	0.7%	18	マラソン	26	836	0.5%	6	陸上競技	18	2,358	1.1%	25
					アメリカンフット	25	456	0.3%	6	駅伝	41	198	0.1%	3	ハスケット	21	1,577	0.7%	20
					マラソン	28	387	0.3%	3										
総視聴数	48				70					64					95				
放映数				1855					2147					2087					2750
構成比	175,494	100.0%			134,101	100.0%				163,555	100.0%				210,756	100.0%			

表2: 年次視聴率調査(分)

	NHK1	NHK3	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ東京	計(分)
1960	43350	120	43344	37017	19905	31758	x	175494
	24.7%	0.1%	24.7%	21.1%	11.3%	18.1%		100.0%
1970	30963	9840	22397	17040	12342	14606	26913	134101
	23.1%	7.3%	16.7%	12.7%	9.2%	10.9%	20.1%	100.0%
1980	39021	13370	19781	12577	21735	26684	30387	163555
	23.9%	8.2%	12.1%	7.7%	13.3%	16.3%	18.6%	100.0%
1990	48891	14999	31466	22929	22797	25995	43679	210756
	23.2%	7.1%	14.9%	10.9%	10.8%	12.3%	20.7%	100.0%

表3: 1960年視聴率調査(分)

	NHK1	NHK3	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ東京	計(分)
月曜	4885		6718	3475	2760	1981		19819
	24.6%	0.0%	33.9%	17.5%	13.9%	10.0%	0.0%	100.0%
火曜	5290		6950	3620	1705	4313		21878
	24.2%	0.0%	31.8%	16.5%	7.8%	19.7%	0.0%	100.0%
水曜	4048	30	4933	7124	1980	1529		19644
	20.6%	0.2%	25.1%	36.3%	10.1%	7.8%	0.0%	100.0%
木曜	5092	90	4785	3962	3650	1206		18785
	27.1%	0.5%	25.5%	21.1%	19.4%	6.4%	0.0%	100.0%
金曜	4506		5065	4160	3293	3116		20137
	22.4%	0.0%	25.2%	20.7%	16.4%	15.5%	0.0%	100.0%
土曜	10718		6458	7960	2318	8661		36115
	29.7%	0.0%	17.9%	22.0%	6.4%	24.0%	0.0%	100.0%
日曜	8814		8435	6716	4199	10952		39116
	22.5%	0.0%	21.6%	17.2%	10.7%	28.0%	0.0%	100.0%

表4: 1970年視聴率調査(分)

	NHK1	NHK3	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ東京	計(分)
月曜	3187	180	140	2278	0	2918	3579	12282
	25.9%	1.5%	1.1%	18.5%	0.0%	23.8%	29.1%	100.0%
火曜	3407	180	2268	507	1298	881	1291	9832
	34.7%	1.8%	23.1%	5.2%	13.2%	9.0%	13.1%	100.0%
水曜	4007	240	2480	4452	1935	1381	600	15095
	26.5%	1.6%	16.4%	29.5%	12.8%	9.1%	4.0%	100.0%
木曜	2983	240	3172	870	2098	874	647	10884
	27.4%	2.2%	29.1%	8.0%	19.3%	8.0%	5.9%	100.0%
金曜	3295	270	4738	1502	180	771	1031	11787
	28.0%	2.3%	40.2%	12.7%	1.5%	6.5%	8.7%	100.0%
土曜	6344	3000	3379	2905	2545	4184	8469	30826
	20.6%	9.7%	11.0%	9.4%	8.3%	13.6%	27.5%	100.0%
日曜	7740	5730	6220	4526	4286	3597	11296	43395
	17.8%	13.2%	14.3%	10.4%	9.9%	8.3%	26.0%	100.0%

表5: 1980年視聴率調査(分)

	NHK1	NHK3	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ東京	計(分)
月曜	4470	1200	485	1208	1245	2238	3194	14040
	31.8%	8.5%	3.5%	8.6%	8.9%	15.9%	22.7%	100.0%
火曜	4250	1105	2085	679	1109	2436	2414	14078
	30.2%	7.8%	14.8%	4.8%	7.9%	17.3%	17.1%	100.0%
水曜	4230	910	2036	995	798	2499	2439	13907
	30.4%	6.5%	14.6%	7.2%	5.7%	18.0%	17.5%	100.0%
木曜	4400	795	1956	425	1682	2313	736	12307
	35.8%	6.5%	15.9%	3.5%	13.7%	18.8%	6.0%	100.0%
金曜	5270	970	349	785	858	4954	2837	16023
	32.9%	6.1%	2.2%	4.9%	5.4%	30.9%	17.7%	100.0%
土曜	7650	4485	8412	3350	4346	5618	3562	37423
	20.4%	12.0%	22.5%	9.0%	11.6%	15.0%	9.5%	100.0%
日曜	8751	3905	4458	5135	11697	6626	15205	55777
	15.7%	7.0%	8.0%	9.2%	21.0%	11.9%	27.3%	100.0%

表6: 1990年視聴率調査(分)

	NHK1	NHK3	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ東京	計(分)
月曜	5982	2358	1533	2395	2966	2175	4891	22300
	26.8%	10.6%	6.9%	10.7%	13.3%	9.8%	21.9%	100.0%
火曜	5471	1022	2397	730	1755	2559	2020	15954
	34.3%	6.4%	15.0%	4.6%	11.0%	16.0%	12.7%	100.0%
水曜	5735	1052	7264	2118	827	2755	1935	21686
	26.4%	4.9%	33.5%	9.8%	3.8%	12.7%	8.9%	100.0%
木曜	5311	777	1731	1270	1823	2059	2203	15174
	35.0%	5.1%	11.4%	8.4%	12.0%	13.6%	14.5%	100.0%
金曜	5903	960	1710	2797	656	1992	3385	17403
	33.9%	5.5%	9.8%	16.1%	3.8%	11.4%	19.5%	100.0%
土曜	9184	4985	7320	5773	3060	5855	11865	48042
	19.1%	10.4%	15.2%	12.0%	6.4%	12.2%	24.7%	100.0%
日曜	11305	3845	9511	7846	11710	8600	17380	70197
	16.1%	5.5%	13.5%	11.2%	16.7%	12.3%	24.8%	100.0%

表7:コ' 67年次局別視聴率(%)

表1-3-1 光電部設備使用状況(%)																										
	5時	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	計	
1960	0	0	0	0	0	0	0	0	0	440	120	0	30	60	0	0	0	925	100	0	0	0	0	0	1675	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%	7.2%	0.0%	1.8%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	55.2%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
1970	0	80	1695	390	20	5	290	210	25	651	767	448	1165	0	0	0	0	1770	1185	0	0	0	0	0	8701	
	0.0%	0.9%	19.5%	4.5%	0.2%	0.1%	3.3%	2.4%	0.3%	7.5%	8.8%	5.1%	13.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.3%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
1980	180	330	220	60	55	0	165	90	3635	1702	3155	2735	1142	247	114	0	108	145	2762	80	0	0	0	0	16925	
	1.1%	1.9%	1.3%	0.4%	0.3%	0.0%	1.0%	0.5%	21.5%	10.1%	18.6%	16.2%	6.7%	1.5%	0.7%	0.0%	0.6%	0.9%	16.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
1990	5985	465	145	0	230	318	0	4219	6220	4240	4701	7405	144	30	0	270	1290	1770	2435	355	0	180	42106	0	180	42106
	14.2%	1.1%	0.3%	0.0%	0.5%	0.8%	0.0%	10.0%	14.8%	10.1%	11.2%	17.6%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.6%	3.1%	4.2%	4.0%	0.8%	0.4%	0.4%	0.4%	100.0%	

表7:コ' 67年次局別視聴率(%)

	NHK1	NHK3	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ東京	計
1960	0	0	110	1260	140	165	x	1675
			6.6%	75.2%	8.4%	9.9%		100.0%
1970	0	0	3340	1110	150	2556	1545	8701
			38.4%	12.8%	1.7%	29.4%	17.8%	100.0%
1980	1470	0	3040	2385	1094	2455	6481	16925
	8.7%	0.0%	18.0%	14.1%	6.5%	14.5%	38.3%	100.0%
1990	2857	442	5580	5479	3040	4795	19913	42106
	6.8%	1.0%	13.3%	13.0%	7.2%	11.4%	47.3%	100.0%

表8:コ' 67年次局別視聴率(%)

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	計
1960	60	0	240	220	820	155	180	1675
	3.6%	0.0%	14.3%	13.1%	49.0%	9.3%	10.7%	100.0%
1970	550	541	561	905	2091	1515	3138	8701
	6.3%	6.2%	6.4%	3.5%	24.0%	17.4%	36.1%	100.0%
1980	1298	596	0	143	235	4250	10403	16925
	7.7%	3.5%	0.0%	0.8%	1.4%	25.1%	61.5%	100.0%
1990	2391	1538	3768	2361	2788	9567	18693	42106
	5.7%	3.7%	8.9%	5.6%	6.6%	22.7%	46.8%	100.0%

表10:フ' 90年次局別視聴率(%)

	NHK1	NHK3	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ東京	計
1960 巨人戦	5,149	0	16,304	9,124	2,575	11,330	x	44,482
	11.6%	0.0%	36.7%	20.5%	5.8%	25.5%	x	100.0%
局内比	1,040	0	9,071	2,025	270	580	x	12,986
	8.0%	0.0%	69.9%	15.6%	2.1%	4.5%	x	100.0%
局内比	20.2%		55.6%	22.2%	10.5%	5.1%	x	29.2%
1970 巨人戦	2,583	0	11,217	3,722	2,913	150	2,048	22,633
	11.4%	0.0%	49.6%	16.4%	12.9%	0.7%	9.0%	100.0%
局内比	1,350	0	10,034	2,678	1,750	150	754	16,716
	8.1%	0.0%	60.0%	16.0%	10.5%	0.9%	4.5%	100.0%
局内比	52.3%		89.5%	72.0%	60.1%	100.0%	36.8%	73.9%
1980 巨人戦	2,830	0	10,095	3,175	7,982	3,656	3,469	31,207
	9.1%	0.0%	32.3%	10.2%	25.6%	11.7%	11.1%	100.0%
局内比	530	0	9,067	1,685	3,651	2,047	580	17,560
	3.0%	0.0%	51.6%	9.6%	20.8%	11.7%	3.3%	100.0%
局内比	18.7%		89.8%	53.1%	45.7%	56.0%	16.7%	56.3%
1990 巨人戦	3,162	180	12,084	5,473	5,503	5,993	2,633	35,028
	9.0%	0.5%	34.5%	15.6%	15.7%	17.1%	7.5%	100.0%
局内比	427	180	10,521	2,489	2,814	1,969	114	18,514
	2.3%	1.0%	56.8%	13.4%	15.2%	10.6%	0.6%	100.0%
局内比	13.5%	100.0%	87.1%	45.5%	51.1%	32.9%	4.3%	52.9%

表11:1990年フ' 90年次局別視聴率(%)

	NHK1	NHK3	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ東京	計	構成比
12時台	0	0	335	0	0	195	0	530	1.5%
13時台	1,095	180	650	652	670	564	4,881	13.9%	
14時台	235	0	2,325	642	180	1,060	1,044	5,486	15.7%
15時台	120	0	420	750	150	635	0	2,075	5.9%
16時台	0	0	0	270	474	0	170	914	2.6%
17時台	0	0	189	0	0	0	0	189	0.5%
18時台	0	0	2,130	0	438	278	174	3,020	8.6%
19時台	1,381	0	5,910	3,074	3,591	2,700	681	17,337	49.5%
22時台	90	0	0	0	0	0	0	90	0.3%
23時台	90	0	70	0	0	55	0	215	0.6%
0時台	151	0	0	85	0	0	0	236	0.7%
1時台	0	0	55	0	0	0	0	55	0.2%
計	3,126	180	12,084	5,473	5,503	5,993	2,633	35,028	100.0%

表12:1990年フ' 90年次局別視聴率(%)

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	計	構成比
12時台	0	0	195	0	0	170	165	530	1.5%
13時台	330	490	505	320	292	1,133	1,811	4,881	13.9%
14時台	330	165	315	120	0	2,182	2,374	5,486	15.7%
15時台	415	0	0	110	110	960	480	2,075	5.9%
16時台	0	90	90	290	0	354	90	914	2.6%
17時台	0	0	0	0	0	189	0	189	0.5%
18時台	174	144	144	0	0	2,280	278	3,020	8.6%
19時台	890	2,973	3,446	3,348	2,289	1,955	2,436	17,337	49.5%
22時台	0	45	45	0	0	0	0	90	0.3%
23時台	0	125	0	0	0	0	90	215	0.6%
0時台	0	0	0	0	0	0	236	236	0.7%
1時台	55	0	0	0	0	0	0	55	0.2%
計	2,194	4,032	4,740	4,188	2,691	9,223	7,960	35,028	100.0%
構成比	6.3%	11.5%	13.5%	12.0%	7.7%	26.3%	22.7%	100.0%	